



内閣府認定特区高等学校
明蓬館高等学校
Meihokan High School

校章のコンセプト info@at-mhk.jp(メールはこちらどうぞ)

「@」をモチーフに図案化。伸びゆく新芽と中心に配した笑顔は、卒業する頃には自分の立ち位置を見つけ強く明るい人間になってほしいという学校の願いを表現しています

[川崎町本校] 〒827-0001 福岡県川崎町大字安真木 1373 番地
TEL 0947-49-5111 / FAX 0947-49-5112
[品川キャンパス/事務局] 〒141-0001 東京都品川区北品川 5-12-4
TEL 03-3449-7904 / FAX 03-5423-2813
編集 成田 滋

めいほうかん高校便り

～品川の風～2012年2月NO.9

■今年度最後のスクーリングが無事終了

昨年の6月に恒例のスクーリング(面接指導)が始まり、最終の6回目の指導が1月23日に終わりました。これも地元田川郡川崎町のいろいろなご支援やご協力の賜物です。教育委員会社会教育課、有限会社ラピュータファーム、B6G 海洋センター、シンクミ農園、De 愛、以心田心-加工部、その他地元の業者などのご協力を頂戴できたのは幸いでした。

地元の講師の先生方には、毎回熱心な授業や個別の指導をやっていただきました。特に、保健体育の吉田喜代士先生や英語の木藤広行先生、音楽の綾部資子先生、就業体験の杉本利雄先生、英語会話のポエットカー・ニコラス先生は3年前の第1回のスクーリングから連続して指導してくださっています。他に書道の村上一枝先生や理科の片桐慎先生と岸本博和先生も毎回参加してくださっています。

その他、数学の吉田正見先生、理科の山下久幸先生、家庭科の大谷明美先生、美術の吉門仗先生、農業の林忠良先生、川崎町の歴史の讃井明夫先生の指導は、生徒から大変な好評でありました。以下、最終回のスクーリングアルバムをご覧ください。



合鴨の成長 ↑



地元のモチ米を使って ↑



ネット授業か ↑



ラピュータ職員の紹介



理科授業の説明



開校式での自己紹介 ↑



料理実習 ↑



4日間のスケジュールの説明 ↑



実習前の説明 ↑



実習がたけなわ ↑



「一心不乱」書道 ↑

食事が楽しみなスクーリングでした。もちつき、懐かしかったです。

■品川の今昔 その9 品川神社

品川神社は、京浜急行新馬場駅から歩いて一分のところにあります。案内板によりますと「文治3年(1185)に源頼朝が安房国州崎明神を勧請創建された」とあります。由緒ある神社のようです。東京十社の一社に指定されています。「北の天王社」と称され、同じ地区内にある荏原神社は「南の天王社」と呼ばれています。また東海七福神の1社として、本殿には大黒天が祀られています。

神社左手には富士塚があります、品川富士とも呼ばれています。富士講という団体の人々が富士山を信仰し、富士山を遥拝する場所として造った小山と記されています、富士塚は江戸時代には各地につくられたようです。



現在、都内には60~70個所の富士塚があるといわれます。品川富士には一合目から十合目の札かかっています。急な階段を登ると(^)がこみあげます。

このあたりは、かつては上方からもたらされた野菜が獲れたようです。越冬用漬物として栽培された品川カブ、品川ネギ、大井ニンジン、戸越のタケノコが名産として記されています。江戸時代には、品川は江戸への野菜の供給畑だったことがわかります。静かに町の発展を見つめる神社です。



■教職員の紹介 入学相談室 新田 勉氏

「私の仕事は、入学にかかわる戦略的な企画と運営、さまざまな入学相談への対応があります。他にもサポート校との連絡調整という涉外、教職員の採用人事、スクーリングの諸手配など、いわば「なんでも屋」なのです。性格は「雲心月性」、モットーは「知行合一」です。

出身は加賀100万石の金沢。星稜高校の卒業です。元ニューヨークヤンキースの松井秀喜は後輩にあたります(^)。京都の大学を優秀な成績の同僚と一緒に卒業後、旅行業界に入りました。その後、決意するところがあって明達館高校へやってきました。ビジネス界で、もみにもまれてきたので、どのような困難な試練にも耐えられる自負があります。どうぞなんでもご相談ください。」

■今月の珈琲「中途退学者のUターン」 校長 成田 滋

高校生の中途退学がアメリカでは大きな社会問題です。1970年は16歳から24歳までの中途退学者は同年代の高校生の15%でしたが、その後減り続け、2007年では8.7%くらいとなりました。高校は義務教育です。それにもかかわらず若者

が学校から立ち去ることを、公教育を支える納税者は心配するのです。

中途退学者の多くはラテン系と黒人系です。こうした状態はアメリカの一つの危機と考えられています。この危機は教育予算を減らした結果だ、といわれています。1980年代になって、アメリカでは連邦政府からの学校への予算が大幅に減らされたのです。中途退学者が増えたのは、教師の力が不足しているからだ、という人々もいます。

教育委員会の努力などで幸い中途退学者がUターンするケースも増えています。特に、大都会であるシカゴ、ロスアンゼルス、ミルウォーキーなどで生徒が高校に戻ってきています。将来の成功は学校で学力をつけることにかかっています。

緊急連絡先

- ・ 共同の携帯用緊急災害時連絡掲示板 <http://at-learn.co.jp/em/>
- ・ 明達館緊急携帯メールアドレス s-mhk@docomo.ne.jp
- ・ 緊急連絡用メールアドレス 品川キャンパス info@at-mhk.jp
- ・ 緊急用携帯電話 品川キャンパス 090-1438-9970
- ・ 品川区立総合体育館 03-3449-4400
- ・ 緊急用携帯電話 本校キャンパス 090-7802-3423

編集後記

スクーリングが終わって、なにか気が抜けたような気分です。この虚脱感から抜けようと、先日、住まいの近くにある囲碁クラブの大会に出ました。なんとか5割の勝率を目指しました。悔いの残る2局がありました。弱い石を二つ作ったために、攻められてしまった一局です。もう一つは形勢判断を間違え、緩んでしまったことです。大事をとりすぎ、相手の地が広がってしまいました。攻めと守りのバランスが悪かったのです。それでも3勝できたのは幸いです。囲碁は自分の地をもらい、相手にも地を作ってもらうゲームです。一方だけが得をしようとするとしっぺ返しがきます。持ちつ持たれつが囲碁なのです。